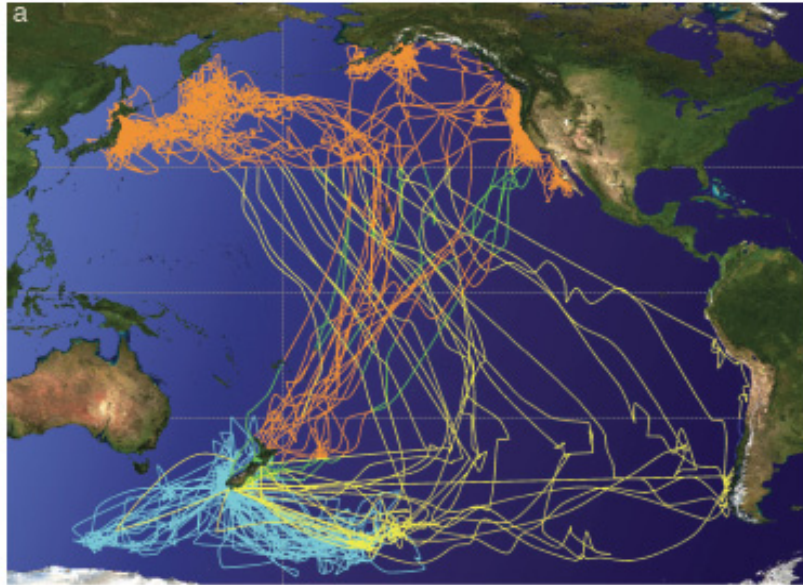


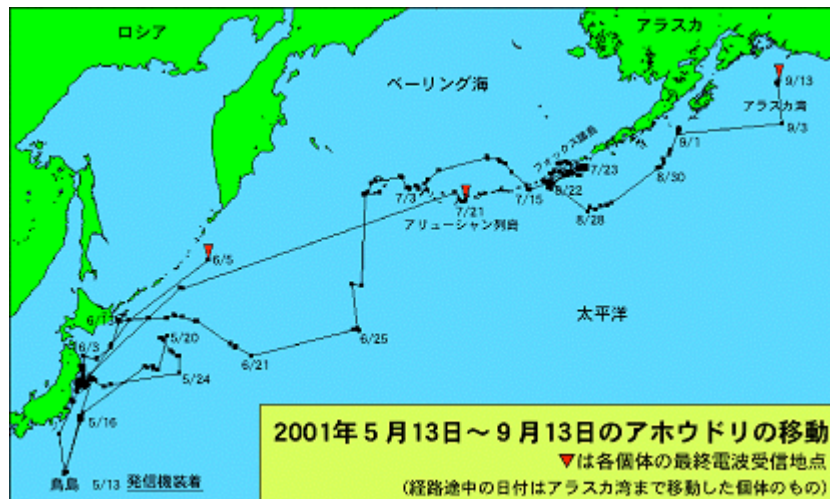
参考資料 2 鳥類、鯨類の国際的移動調査例



ハイロミズナギドリの繁殖および越冬期のホットスポット

出典：Shaffer et al. (2006):Pro Natl Acad Sci 103:12799-12802.

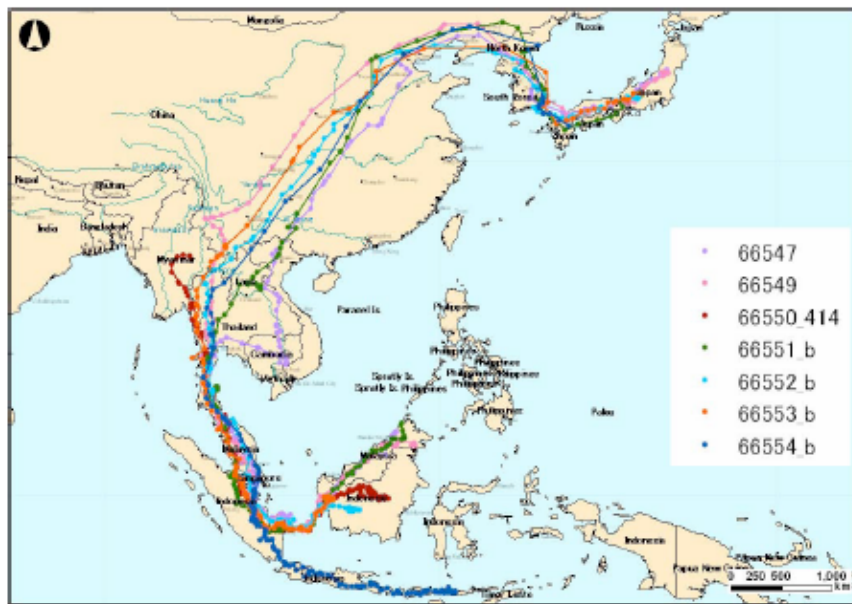
※北海道大学 大学院水産科学研究院綿貫豊准教授・桜井泰憲教授提供



アホウドリの移動 衛星追跡の軌跡

出典：環境書/山階鳥類研究所資料

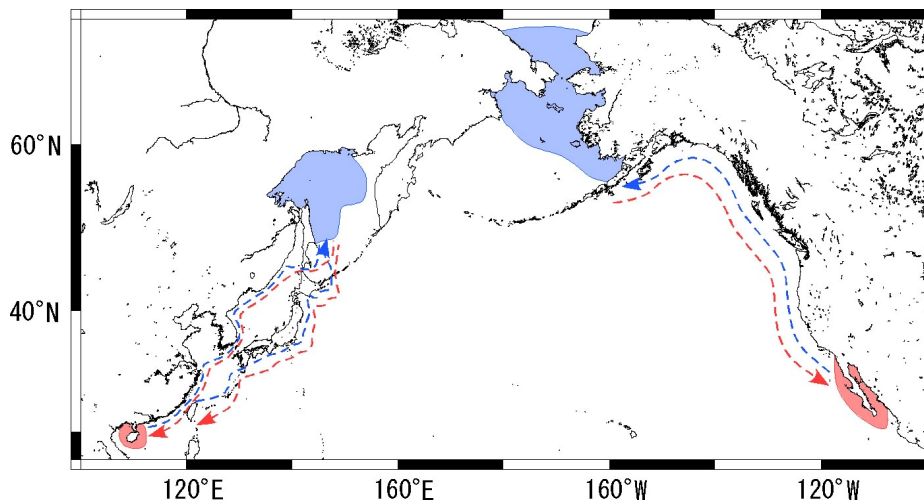
http://www.yamashina.or.jp/hp/ashiwa/ashiwa_index.html#12



ハチクマの春の渡りの衛星追跡の軌跡

秋の渡りでは、国内を西進し、九州北西部から東シナ海を横断し、中国内陸部を直線的に南下、さらにマレー半島等へと至った。春の渡りでは、マレー半島、中国内陸部、朝鮮半島経由で、国内に入っていた(上図)。衛星追跡の結果、上記ルートが、日本国内のハチクマに関する共通の特徴であることが示唆されている。

出典：時田賢一ほか(2007年):「ハチクマの春秋の渡り衛星追跡—10羽の成鳥の記録—」.,日本鳥学会 2007年度大会.



コククジラの想定回遊経路 (青色:索餌海域、赤色:繁殖海域)

日本を通過するアジア系コククジラは、冬季アジア側中緯度域沿岸(中国海南島周辺との見方が主流となっている)で繁殖し、夏季にはサハリン東北岸などのオホーツク海沿岸域へ索餌回遊する。回遊に当たっては水深 200m 以浅、沿岸から 10 海里以内海域を主に利用すると考えられている。

出典：東京海洋大学海洋科学部教授・加藤秀弘(2008年):「アジア系コククジラ(西太平洋系群)の生態と資源」